

お題 ④

目指せ年間来場10万人! 四国村ミュージアムに
お客さまが殺到するキャッチコピー。

四国村ミュージアム

四国村ミュージアムは、建築とアートと自然が楽しめる野外博物館です。

そんな四国村ミュージアムに、

お客さまが殺到したくなるようなキャッチコピーを募集します。

四国村ミュージアムってどんなところ?

香川県の屋島山麓の広大な敷地(東京ドーム約1個分)に、江戸時代から大正時代にかけて主に四国島内にあった古民家(住宅や作業小屋、寄合い所、芝居小屋、米倉、醤油醸造所など)建造物を移築復元し、当時の生活・産業に関わる民俗資料を展示しています。いずれも実際に人が住み、使ってきたもので、人々の知恵や労苦、祈りが染み込んでいます。他にも安藤忠雄氏設計の「四国村ギャラリー」、古民家を改築したうどん店「四国村わら家」、神戸の異人館だった「四国村カフェ」など、多様な魅力を持つスポットが点在しています。2022年には川添善行氏設計のエントランス施設「おやねさん」が新設され、古民家と現代建築のコントラストを楽しんでいただけます。

- 参考来場者数 2021年/2万5000人、2019年(瀬戸内国際芸術祭開催年)/5万8000人
- 運営上の課題 施設としての認知度が低い、盛りだくさんな内容なのが外からではわかりづらい、
- 一般的に美術館・博物館などは月曜日はお休みですが、四国村ミュージアムは、火曜日が定休日です。

見どころ・楽しみ方

展示物は、いずれも実際に人が住み使ってきたものです。家々の柱や梁、また多くの民具には、人々の知恵や労苦、祈りが染み込んでいます。四季折々の豊かな自然を感じながら散策すると、鳥の声や滝の音に癒され、また現代人が失ってしまった何かにふと気づくかも知れません。「幸せとは何か」を考えるきっかけにもなるでしょう。

- 主に四国四県から移築・復元した33棟の建物
- 2万点の生活・産業に関わる民俗資料
- 平家落人伝説が残る、秘境への架け橋「かずら橋」
- 小豆島農村歌舞伎舞台
- 瀬戸内海航路を照らし続けた「灯台退息所」エリア
- 安藤忠雄氏設計の「四国村ギャラリー／水景庭園」
- 点在する石の芸術「彫刻家 流政之氏作品」
- 古民家を改築したうどん店「四国村わら家」
- 神戸の異人館だった「四国村カフェ」

上記はごく一部です。他にもたくさんありますので、詳しくはwebまたは、ご来館ください。

もっと詳しく調べてみよう!

公式webページ



Instagram



PR動画



Facebook



Twitter



四国村ミュージアム

検索

<https://setoco.jp/gennai-koshien/>

お問い合わせは gennai@setoco.jp Tel.087-845-0007 瀬ト内工芸ズ。(株式会社人生は上々だ内)